

薄幸な憧れの女性を魅力的にして奪うまでの話

薄幸な憧れの女性を魅力的にして奪うまでの話





AM
8:00



もうこんな
時間かあ…

ふああああ…



でももうちょい仕事
進めないといけないし

眠気覚ましにコーヒー
でも買ってくるか

ズズ

俺の名前は木場公(きばあきら)
エロ漫画家として生計を立てている

ここ数日徹夜だったけど
もう少して今回の原稿も終わる
あと一踏ん張りだ!!

木場さん!
おはよう
ございます!!

ふちゅちゅ

ガキヤ

!

あつ…!?
おつ…おはようございます
小嵐さん!!

ここに越して来た時から
親切にしてもらっていて

初めての一人暮らし
なんですか?良いですねえ
何か分からない事があれば
何でも聞いて下さいね

まあ…漫画家さん
なんですか凄いですね、
私も昔趣味で少しだけ
描いてた事があるんですよ

俺より年上だけど(36歳らしい)
その素朴でふんわりとした
雰囲気がとても接しやすく
それに飾らない綺麗さも相まって

この女性はお隣さんの
小嵐伊純(こあらしいずみ)さん

相手が既婚者にも関わらず
俺は憧れというかほのかな
恋心を抱いていたのだった

眠そう…また
徹夜ですか?

ええ…
まあ…

おい!!伊純!!
どこだ!?

早く鞆を持って来い
仕事に遅れたら
どうする!!

す…すみません
今玄関を掃除
して…

まったく使えない女だな…
何のためにここに置いて
やっていると…

あの…今日
お夕飯は…

いらん!!

ふん!!

ねえ『おばさん』さあ…
そこ邪魔なだけど

あつ…!?

ごめんなさい…

あとその不景気な顔
あんま外に出さないで
くれる? 自分の親が
そんななの恥ずかしい
からさそんじゃねえ

え…あ…い…

いってらっしゃい…

……

しかし彼女の家庭内での立場は
とても低いみたいで…
傲慢な旦那は彼女を下に見てるのが
明白で愛人の噂も聞いた事がある
息子も生意気で彼女を母親扱い
していない様子――

何かすみません…
恥ずかしい所を
見せちゃいましたね

あ…いえそんな…

伊純さんは全然悪くないのに…
彼女の暗い表情を見た俺はつい…

あのよろしければ
気分転換にコーヒー
でも飲みに行き
ませんか？

え？
で…でも…

やった!!
伊純さんを
誘えた!!

あ…部屋に忘れ物…
すいませんちょっと
待って下さい

はい

俺も今眠気覚ましに
行く所だったんですよ
少しお話とかすれば
気も晴れるかもしれ
ませんし

あ…余計なお世話
じゃなければ
ですけど

いえいえそんな事は!
うーんそうですね…
たまには気晴らしも
良いかもしれませんね

俺は急いで身なりを整えて
伊純さんと近所のカフェへ出かけた

うわ…
髪ボサボサ…
ヒゲも…



あ！美味しい！
最近のカフェってコーヒー
だけでも色々あるんですねえ

本当ですね！実は俺も
ほとんどコンビニのコーヒー
ばかりだったから新鮮です



世間話から徐々に話題が膨らみ
会話の内容は家庭の事へと――
彼女も不満を発散する場が
欲しかったのだろう

俺は思わず伊純さんが
漏らしてしまった
悩みを聞く事になった



どうやら旦那さんが愛人を
作ってるのは当然の様に
彼女にも知らせているそうで

不満があるなら出ていっても
良いと判の押された離婚届まで
突きつけられた事もあるらしい



そんな父親の姿を見て育てば
息子もああ育つというもの…



何だそりゃ…無茶苦茶だ…

何でそこまでして一緒にいるんですか？そんな家庭環境…絶対おかしいじゃないですか！

お恥ずかしい話なんですけど、専業主婦という事もあって私はほとんど貯金が無くて…あそこを出たらどうやって暮らしたら良いか…

父も母も私が若い頃に亡くなってその後遠い親戚に引き取られて…

その結果性格に難ありで結婚も出来なかったその家の息子と婚姻を結ぶ事になったとの事…

私も本当…

この先どうしたら良いのか…

そういえば小嵐さんって前に漫画描いてたって言っていましたよね？よろしければ僕の所でアシスタントしてみませんか？

そしたら気晴らしになるかもですしアシ料はきちんと払いますので貯蓄が出来れば今後の選択肢も増えると思うんです

そう呟く彼女の諦めにも似た苦笑に俺は心が苦しくなった

そしてこんな提案を彼女にぶつけてみたのだった

え…そんな私なんか…だって本当にいわゆる同人誌を学生の頃友達と描いた位で…

同人からプロになるなんて普通ですよ！前に描いた原稿とか残ってないですか？それを見せてもらえばどんな作業が出来るかと分かると思いますし

じゃ…じゃあ…

そうですね…一度見て頂くだけでもお願い出来れば…

そういう流れで彼女は
俺の部屋に来る事になった

全然上手じゃないですか！
背景もきちんと描けてるし
これだけ出来れば十分ですよ

え…えへへ…
そうですね？プロの
先生にそう言ってもらえ
ると嬉しいです

あ…つと…
それで…俺の描いてる
漫画なんですが…

先に言えば
良かったんですけど…

え…エツチ
な漫画？

すみません…小嵐さん
そういうの読まないです
よねさっきは僕も切羽
詰まっちゃって言うの
忘れてて…

あ…いえいえ…ちよつと
驚きましたけど実は私も
その…今で言うBLみたいな
漫画も描いた事があって…

全然大丈夫ですよ

え？そうなんですか？
それは意外でした

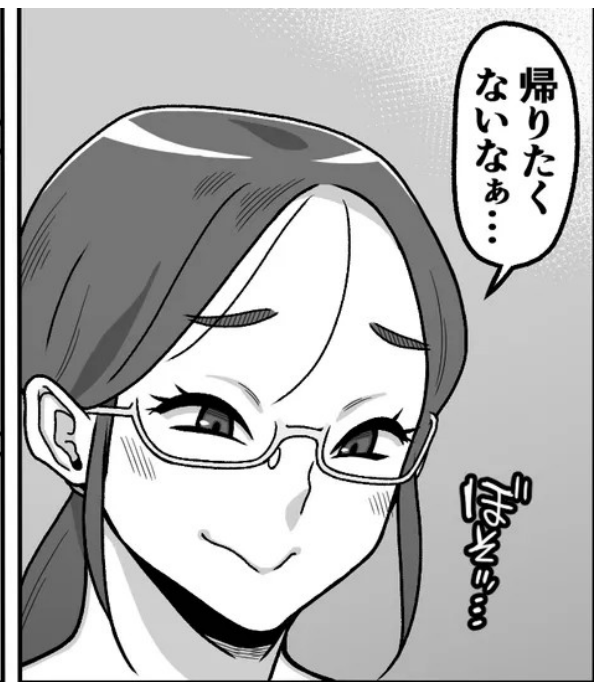
あはは…何だか
恥ずかしいです

照れた顔も
可愛い…!!

それからの日々は
まるで夢のようだった

憧れの女性と
同じ空間で仕事





で…でも私…こんな
年増で色気もない
ですし…

それに…

そんな事無いです！
小嵐さんは僕が今
まで出会った中で…

一番魅力的な
女性ですッ!!!

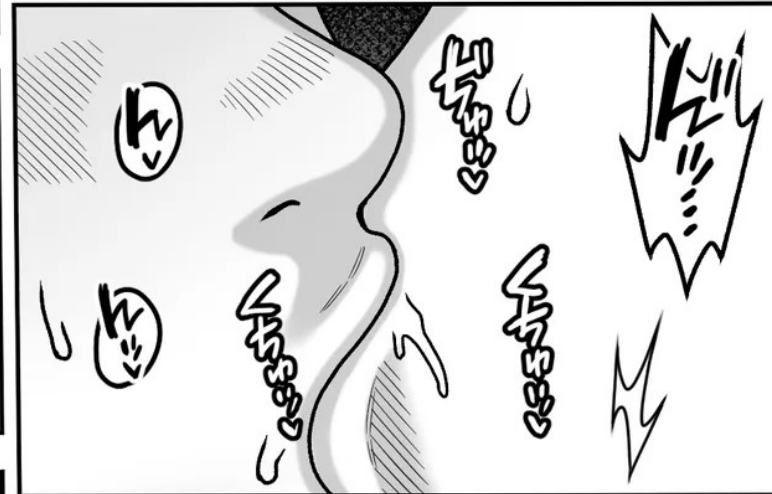
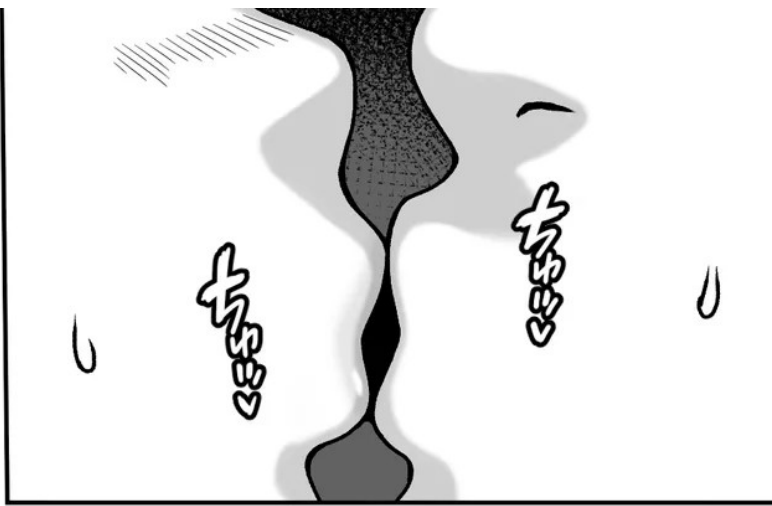
凄い…胸がこんなに
ドキドキして今まで味わった
事のない間隔…高揚感…

突然こんな事言わ
れたら迷惑ですか？

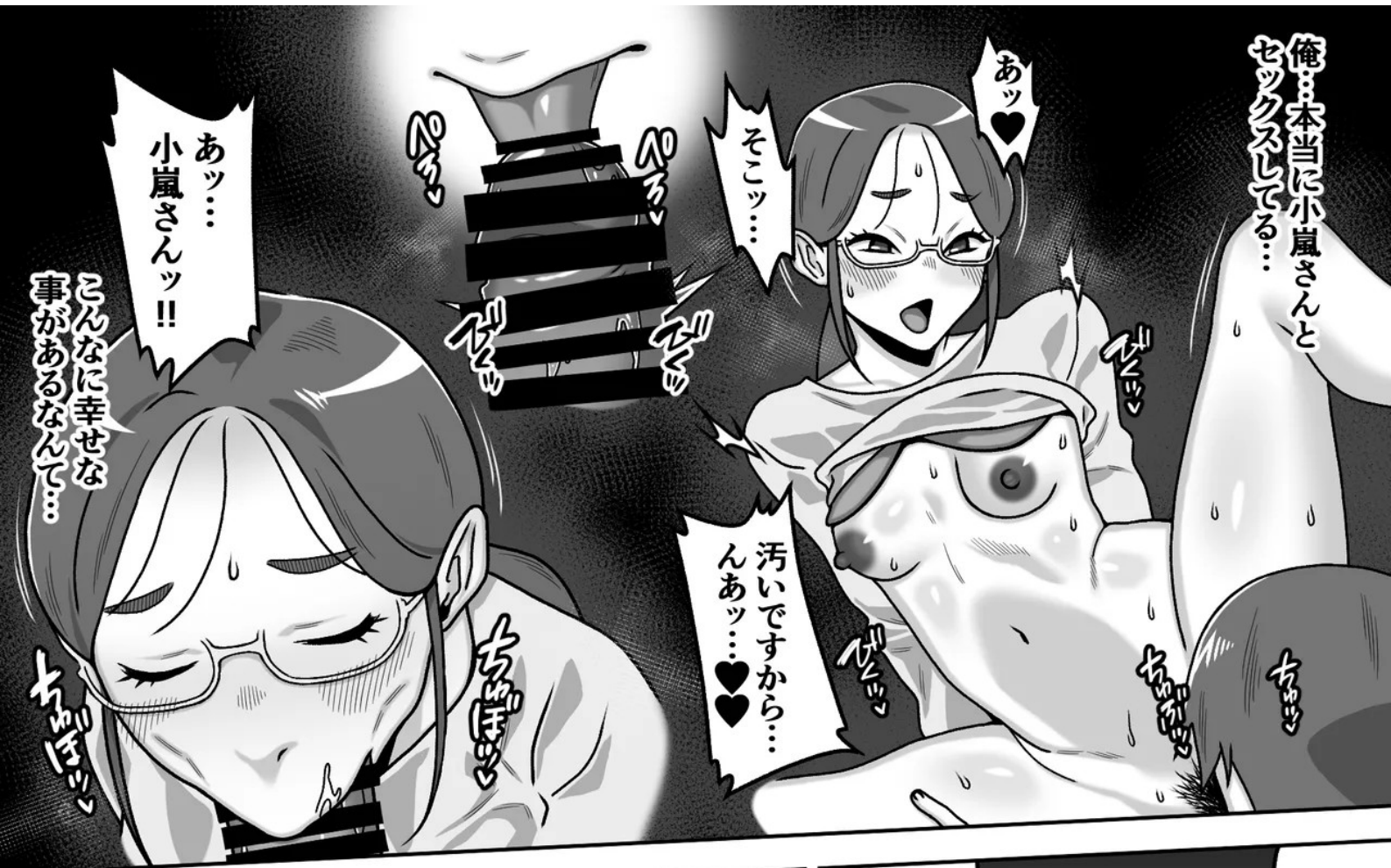
いえ！そんな事
無いです…正直…
嬉しいです…

そんな事言われたら
私…私…ッ!!

ガキガキガキ







俺：本当に小嵐さんとセックスしてる…

あッ♡

そこッ…

汚いですから…んあッ…♡♡

あッ…小嵐さんッ!!

こんなに幸せな事があるなんて…



今回は…その…

ゴムなんて持ってませんでした…すみません…

まさかこんな風になれるなんて思ってもなくて…



小嵐さん…あの…俺その…もう…

はい…良いですよ…あ…でもちゃんとゴムは…



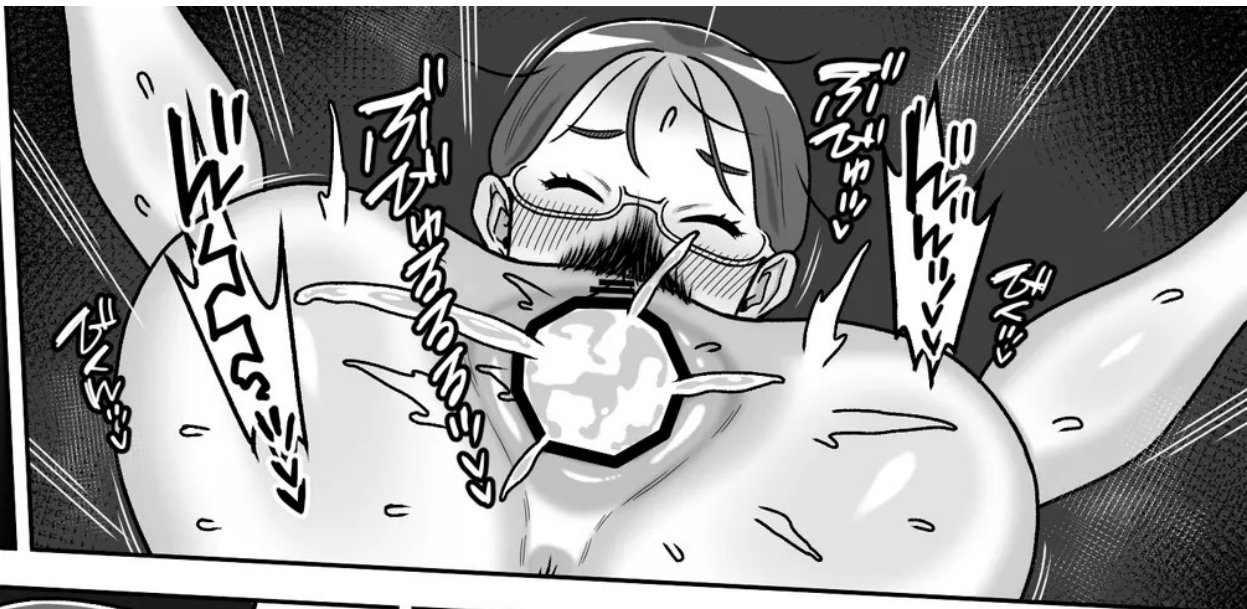
じゃ…じゃあ今回は外に出してくれば…えと…

だ…大丈夫ですから♡



あッ!!!

え？



二時間後――



カチ

カチ



あ…もうこんな時間… 私そろそろ帰らないと…

は…はい…あ…俺達二時間も…

あの…先生… また私に…『私にしか』 出来ないお手伝いがありましたらどうぞおっしゃって下さいね

えッ…!?



それでは先生 お邪魔しました

は…はい… お疲れ様でした

これはその…お手伝いなんですから…

先生が試してみたい事などがあれば… 『何でも』…♥♥



あの日から…『伊純さん
にしか出来ないお手伝い』
が増えていった

あーん

はい

伊純さん今日の髪型
凄く似合ってますね！
綺麗です

そ…そうですか？えへへ…
陽菜ちゃんに教えてもらって

どうぞ上がって
下さい

はい
お邪魔します

どうですか？
流石にこれ着るの少し
恥ずかしかったです

伊純さん凄く色っぽいです
それにもうじっとり汗かいて
蒸れたHな匂い…

あーん

だって…家からずっと着て
たから乳首とかこすれて
変な気分になっちゃって…

これも先生のお手伝い
になりますか？

あーん

あーん

勿論です…
凄く魅力的な姿で
とても興奮します

んっ♡
なら良かったですもって
私で試したい事おっしゃって
下さいね♡

この興奮が最高の
ネタ出しになって…
伊純さんとした事も
沢山あります♡

次回作の意欲にも
繋がりますッ！

伊純さんの口から
発せられる甘美な言葉
俺は夢中になって彼女に
欲望をおつけていった

あーん

あッ…伊純さん
それッ凄く気持ち
良いですッ!!

うふふ…
これれふか♡

先生のおち○ちんはち切れ
そんな位パンパンになってる!!

私…こんな大胆な格好で
旦那にも見せた事ないような
惚けた顔して…

先生には何でもして
あげたくなっちゃう♡

いッ…伊純さんッ
そんなにされたら

俺…すぐに
出ちゃいますッ…

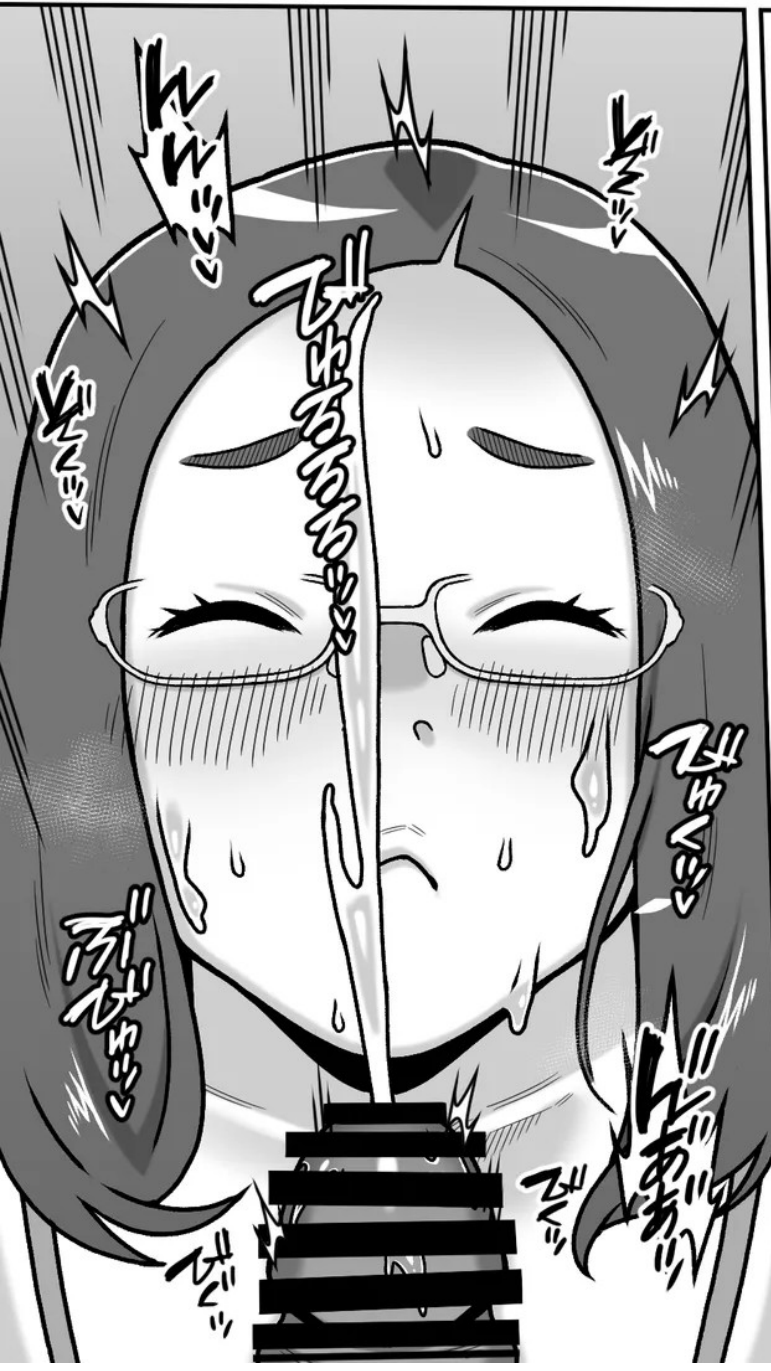
うふふ♪どうしましょうか?
このまま口に出して頂いても
良いですし顔に出しても…

旦那にもかけられた事
がない私の顔にたっぷり
精液かけて下さっても
良いんですよ♡

私…凄くいやらしい
事言っちゃってる♡

あッ…顔ッ…伊純さんの
顔ッ…伊純さんの綺麗な
顔に出したいですッ!!
伊純さんの顔に精液…ッ

あッ…あッ…
出るッッ!!





はあ...はあ...
伊純さん...



先生の精液が顔中に...♡
Hな匂いが鼻と口から沢山入ってきて
私の体...凄く興奮しちゃってる♡

あッ♡顔にいつぱい出されて
私もちよつとイッチャった♡



顔中...あったかくて
凄い匂い♡私の顔...
先生の精液にマーキング
されちゃいました♡

先生のモノになっ
ちゃいましたね♡



あら♪またそんな固く...
私で興奮してくれたん
ですか?嬉しい♡
先生のしたい事全部私に
吐き出して下さいね♡

先生♡♡
私にもっともっとHな
事して下さい♡♡



伊純さんッ...

い...

俺はますます伊純さんに夢中になり
彼女の心も体も貪欲に求めていった...

これが伊純さん
の...お尻の穴...

は...恥ずかしいです...
あんまりじっくり
見ないで...♥

ほ...本当に
良いですか?

伊純さんのお尻...
アナルツ...
気持ち良いですツツ

うふふツ♥♥
私のアナル処女...
先生に捧げちゃい
ましたね♥♥♥

ちよつとドキドキしますがけど
良いですよ...入れて下さい♥

は...

は...

は...

は...

は...

は...

は...



先生どうされました？
私の手をじーっと見て…



え？指輪ですか？

先生…私の事で嫉妬…
可愛い♡♡

何かこれが伊純さんの事を
大切にしない旦那さんとの
枷みたいに見えてイライラって
いうか…嫉妬しちゃって…



それじゃあこの指輪に
先生の精液いっぱい
かけちゃいませうか♡
先生の匂いで夫婦の絆の証…
上書きしちゃいませう♡



えっ…上書き…
俺の精液で…っ…

ああ…先生のザーメン
が結婚指輪に…♡

夫婦の誓いの象徴に
先生の子種汁がいっっぱい
絡みついて…

先生の匂いに染め上げ
られちゃいましたあ♡

うふふ♡♡
ほり見て先生♡♡
こんなにドロドロ♡♡

夫婦の…あのひととの
愛…絆の印が先生の生臭い
精液で塗り重ねられていっ♡



そんな関係が続けていく内に
伊純さんもどんどん大胆になって
どんな要望にも応えてくれた

うふふッ♪
今日はメイド服ですか？
こんな漫画のアイデアが
あるんですか？

すいません…実は伊純さんの
メイド姿が見たかっただけで…

あら♥それでこんなに
興奮してるんですか？
先生…可愛いですね♪

んあッ!!
伊純さんッ…

はあ…はあ…妻く良いです
伊純さん谷間…あつたかくて
カウパーと汗でぬめって…

めちやくちや
気持ち良い…

ご主人様亀頭責められ
るの弱いでもんね♪

こうやって亀頭に舌を這わ
せて激しく舐め上げると
先生はすぐイッちゃうの♪

んふふりこついう
のはどうですか？
ご主人様♥♥

んあッ!! 亀頭ッ…
それヤバいですッ!!

あッ…それされたら
すぐッ…出ちゃいます
から…ツツ…!!

あッ!!

そして先生は私の顔に出すのが興奮するみたいだからこうやって催促してあげると...

ご主人様♥また顔に出して下さい♥♥♥
いっぱい出して♥♥♥

私の顔にいっぱいかけて...
精液臭い顔にして下さい♥♥♥

あひッ...
イクッ...

もお...ッ...
出るッ!!



たんぽん...

たんぽん...

はま...

はま...

今日も沢山出ましたね♥♥♥
眼鏡にもいっぱい染み
込んじゃった♥♥♥

もや...

この前なんて家事中に
眼鏡から精液の残り香が
してくる事があって
ドキドキしちゃったん
ですよ♥♥♥

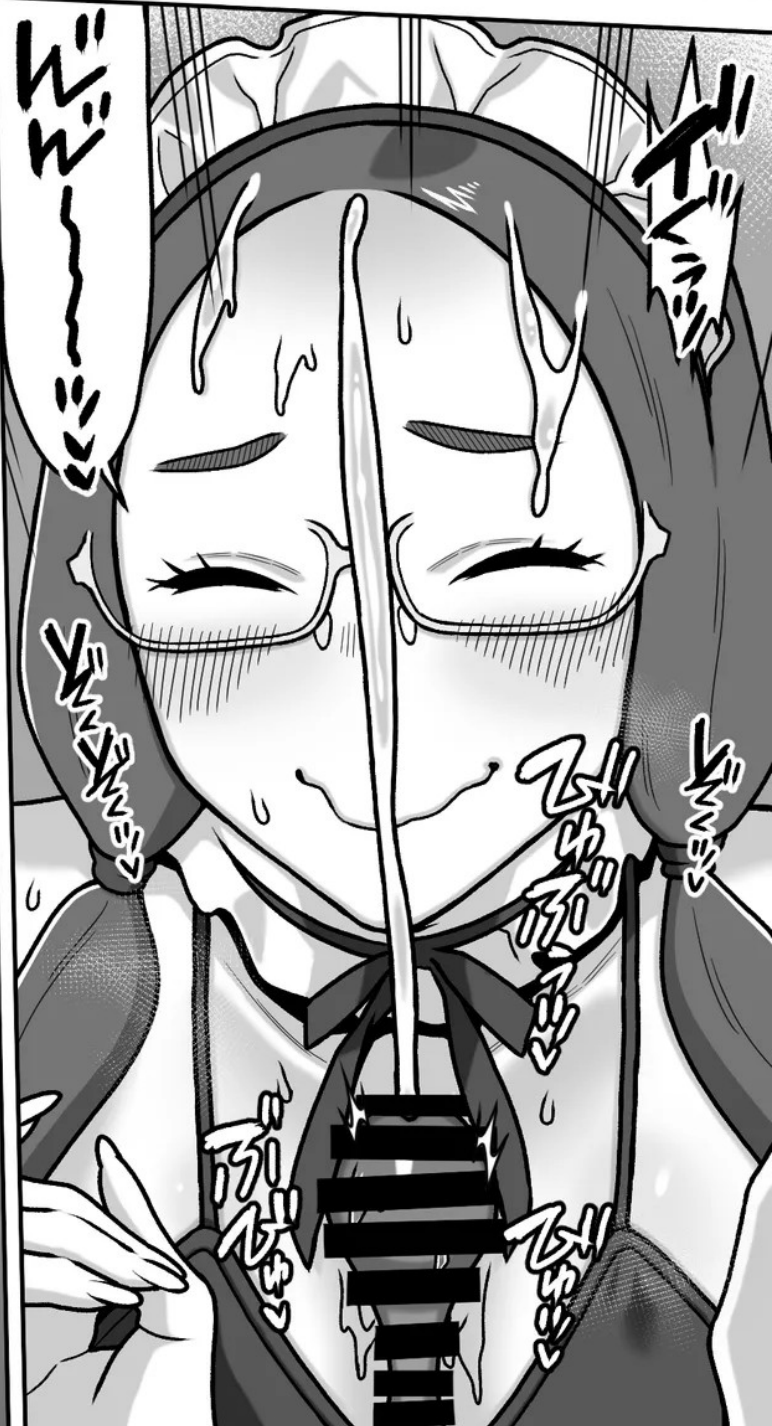


ご主人様の匂いで
私も疼いちゃって...
欲しいです♥♥♥

伊純さん俺...
また試したい事が...

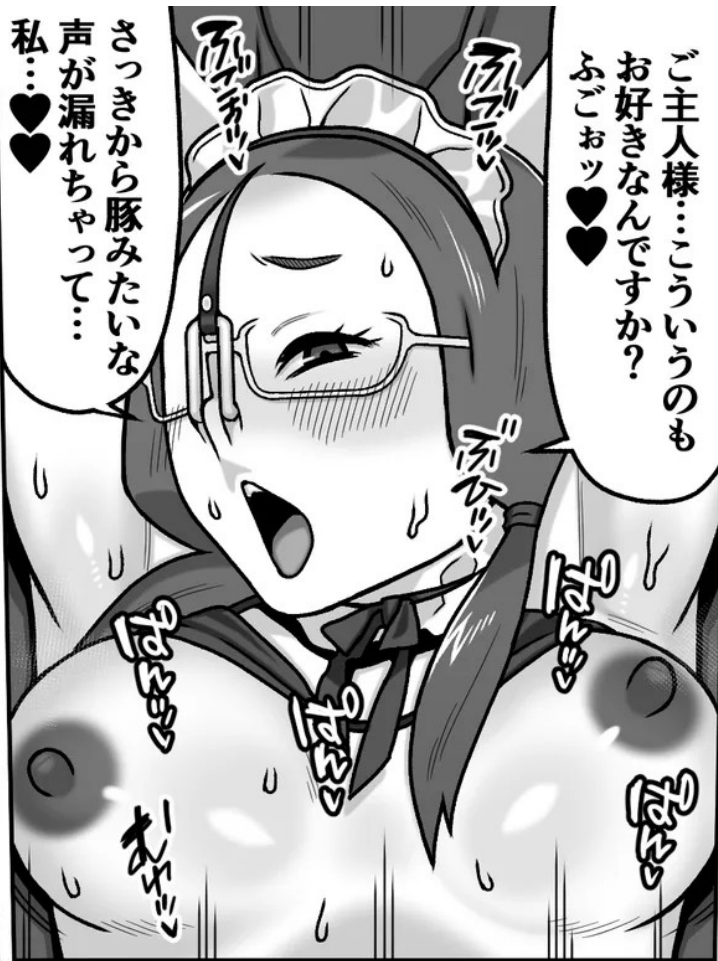
良いですよ♥♥♥
何でもして差し
上げます♥♥♥

キーン...





ご主人様…こういうのも
お好きなんですか？
ふっおッ♥♥



さつきから豚みたいなの
声漏れちゃって…
私…♥♥

伊純さんだから興奮
しますッいつも清楚で
綺麗な伊純さんだから
こんな…



こんなはしたくない
姿がエロすぎて…ッ…



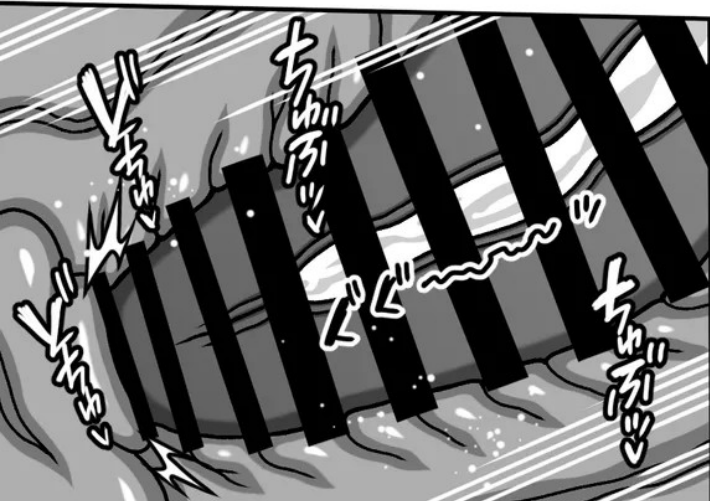
私だから興奮して
下さるんですね…
嬉しい♥♥

じゃあもつと沢山…
私のはしたくない所
見て下さいッ♥♥



伊純さん…
もう出るッ…
イキそうです…
…ッ…!!

出してッ…全部私の中に
出して下さいッ♥♥



それには最近は
仕事の日
以外でも——

すいませんー先生
いらっしやいますか？

あれ？伊純さん
どうしました？
今日仕事は無いはず…

あ…先生…
晩御飯のおかず作り
すぎちゃってですね…
よろしければ
どうか買って…

え…ええ…
ありがとうございます
でも…その格好…

優しくて綺麗で
何でも応えてくれる
伊純さん…本当に
最高だ…!!!

あ…これ…
今日暑かったので薄着
にしてたんですけど…

ジュワジュワ

ジュワ

ジュワ

それでもいっぱい
汗かっちゃって…

あの…

よろしければ中まで
運びますけど…♥♥

ジュワ

ジュワ

ジュワ

私も…ずっと会いたくて…
おかず作りながらどうやって
先生の所に押しかけ
ようかって…

ジュワ

ジュワ

ジュワ

誘惑しようかって
考えてて…
ムラムラしてて♥♥

伊純さんっ 伊純さんっ
嬉しいですッ…!!

アッ無い時は伊純さん
いなくて寂しくて…今日も
本当は凄く会いたくてッ!!

汗だくの肌…
ずっとこれ…
舐めたくてッ

あッ…
乳首ッ…

伊純さんエロすぎですッ
俺が伊純さんを大事に
しますッ!!

あんな奴らから
伊純さんを奪って
やるッ!!!

嬉しいッ…私も…
私も先生が
良いですッ♥♥



私の全てを知って
下さってる…全身の匂いも
味も全部知って下さってる
先生が良いです♡♡

私の身も心も…
ぜんぜんお奪って
下さる♡♡



あ♡♡奥の所
ゴリゴリされるの♡♡
そこ♡♡私♡♡

イク♡…もう俺…
イク♡…出ます♡♡

あ♡♡イク♡♡
私もイクます♡♡
イク♡♡

はあ…はあ…今日も♡♡は♡♡
しちゃいましたね♡♡



おかず…また作り
すぎたら持つて…
来ちゃいますね♡♡

自己肯定感が上がった伊純さんは更に明るくポジティブになっていき陽菜ちゃんから色々教えてもらったメイクやヘアスタイルを取り入れ美人度も増し魅力的になっていった

そのせいか家庭内での立場にも変化が起きているようだった

最近どうしたんだ？
妙に綺麗というか…
雰囲気が変わったな

え？

前にも言ったでしょ漫画のお手伝いのアルバイト

そこの陽菜ちゃんって女の子に色々教えてもらって♪

そうなんだよな前に忘れ物届けてくれた事あったじゃんその時クラスの女子が母ちゃんの事美人で羨ましいってよ

今度会いたいとか言われちゃってさ…
…どうかな？

以前はるくに家にも帰らなかつた夫も最近私を求めようになつてきていた…

なあ…今日もダメなのか？
やはり…前にとつていた態度の事で…それともあの女の事か？あいつとは別れると言つただろう！

あら？もしかしてその娘の事が好きなのかしら？

うふふ…

!?
ちッ…
ちげえし!!

違いますよ夜ふかしは仕事に差し障るから…それに外に女性がいたって私は気にしないって言うっているじゃないですか

しッ…
しかしッ…

それじゃあ
おやすみなさい

いッ…
伊純…ッ

以前は私の事を邪魔者の様に
扱った男の悔しがる顔…その様は
滑稽で私の胸をスツとさせた

息子も私にせがんで同じクラスの
女の子と連絡先を交換させてきた
どうやら本当にその娘が好きらしく
私づつてに関係を深めたいみたい…

でもそんな家の男達の
事は今の私にとって
どうでも良くなっていた

何故なら私には今私を
必要としてくれて…私に
とっても必要な居場所が
あるから…

今日の伊純さんの服…何か
いつも以上に色っぽいなって…

最近の私は前以上に先生が好むような…
先生を誘うような格好で
職場に行くようになっていた

この服ですか？

うふふ…どうしました
先生？さっきから
チラチラと私を見て♪

えッ…あ…いえ…

だって先生の作品を見ると『腋』お好きなんだって思いましてだから先生の好きそうな服を…あところいうのとか…♪

え…伊純さん…腋毛…!?

そういえば家に来た時はカーディガン着てたから気付かなかった…

はい…以前私のはしたない所好きっておっしゃってたでしょ？だから先生の為に処理せずに…♡

私を見てHなアイデア沢山出して頂けたら…♡♡

い…伊純さん…そんな格好されたらお…俺…

ガクッ…

伊純さんの腋…甘酸っぱい匂いがして最高ですッ…

あッ

ウソッ

ウソッ

腋毛も…こんな綺麗な伊純さんとのギャップで卑猥すぎるッ…

はい…♡♡♡どうぞ♡♡♡

私ならいつでも♡♡♡

んッ♡嬉しいッ♡私…先生に見て欲しくていっぱいおしやれして綺麗になろうと思って…だから沢山私の事求めて下さいね♡♡私の全身は先生のなんですから♡♡

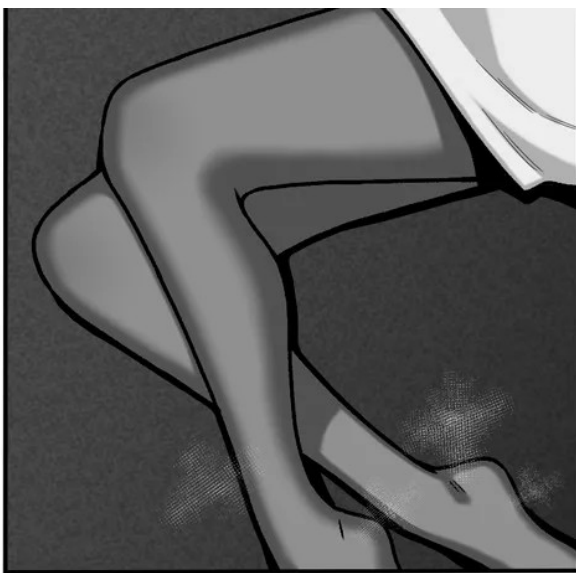
はッ

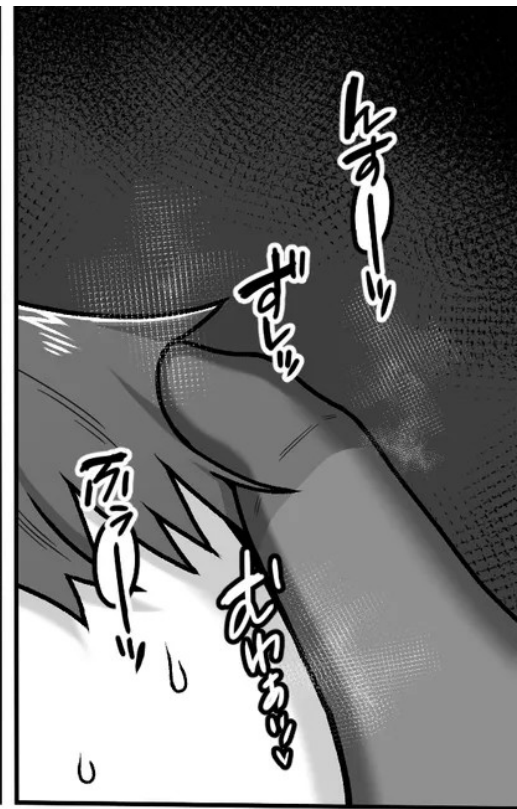
ウソッ

ウソッ

ウソッ

伊純さん…可愛すぎますッ…!!





伊純さんの蒸れた足の匂いが鼻からどんどん流れ込んで来る…



指の間の匂いとか濃くて…あの優しくて綺麗な伊純さんからこんな匂いがすると…興奮が止まらないわ…



先生の吐息…凄くて足の指の間くすぐったい。

でもこんなに一生懸命私の匂いを求めている先生…可愛い♡



そんなに私の足好きですか？

それじゃあ…



こういうのはいかがですか？

んああッ…!!

伊純さんの足裏で…まるでほんまに手を当てるみたいに挟まれて…凄いの興奮するッ…

あんなかくてしるんないよ…それに顔全体が何だか…

ああ…すりすりやばい…足の裏で両頬を撫で回されて…まるで…

足裏に頬ずりされてるみたいなの…俺…もうッ…

うふふ…先生の顔…うっとりして気持ち良さそう♥でももう我慢出来ないんじゃないですか？

はい…♥朝からずっと先生にして欲しくて…

伊純さん…伊純さんの股間…濡れて染みが…

今もなるべく平静を装ってますけど本当はめちゃくちゃ『犯して』欲しくって…♥♥

犯して…

先生…

下さる♥♥



どんどんエロクを増して行く
伊純さんの体…

それを貪るのに俺は没頭した



伊純さんの体…汗で
ヌラヌラ光ってて

めちやくくちやエロくて
魅惑的すぎるッ!!



肌…



腋…



乳首…



せ…
先生ッ…♡

んッ…
伊純さんッ…

先生の汗も…
おいし…♡



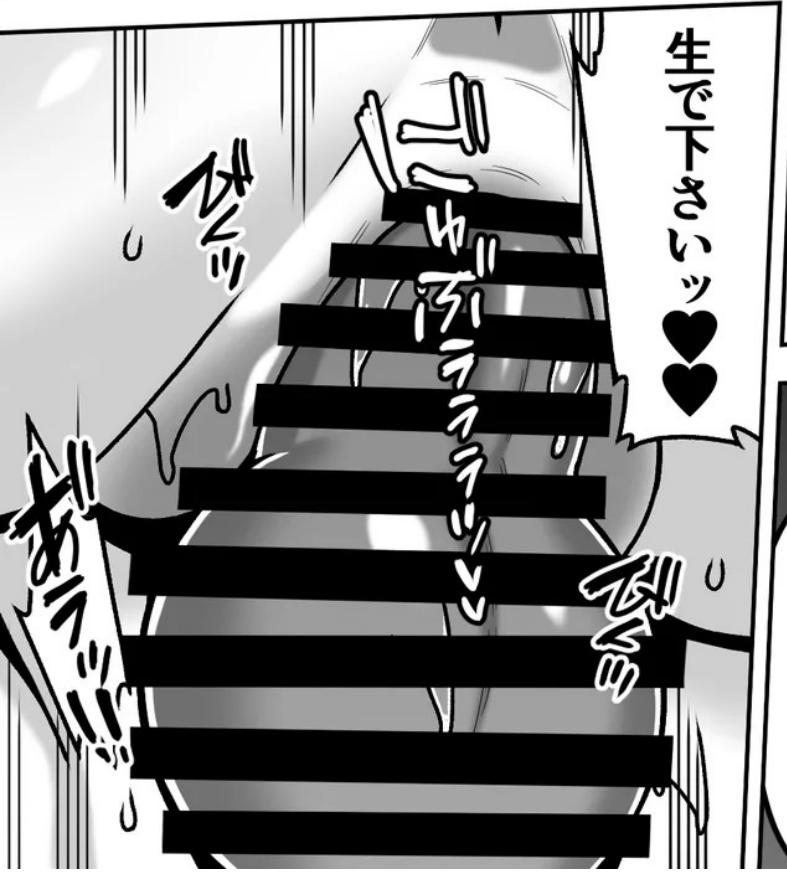
もうゴムとか
いらないので…

生で…



犯してって言ったのに
伊純さんも…めっちゃくちゃ
貪欲に俺を求めてくる…

エロすぎて
ヤバイ…ッ…



生で下さるッ♡♡



んあああッ…
伊純さん俺ッ…
もう俺ッ…伊純
さんの中に…ッ

はい…私も…
早く欲しくてッ…

快楽に浸り動物のような嬌声をあげて腰を打ち付けてくる伊純さん…



その普段とのギャップ…下品なのに俺は更に興奮を覚える…

先生…好きですッ
大好きッ♥♥♥



鼻と口から流れ込んでくる彼女の吐息に



頭がクラクラして脳が痺れる…

下品な声上げて乱れる伊純さんエロすぎです…ッ腰…止まんないッ…!!



下品な私…好きですか？
私の下品な姿…



もっと見て…沢山興奮して下さい♥♥♥

あッ…それエロ
すぎですッ…
腋毛も凄く卑猥で…

俺ッ…
もう俺ッ…!!!

はあ…はあ…
良いですよ♡

私の中に先生の…
生で全部出して
下さい♡♡

あッ…今乳首
されたらッ…

精液早く♡♡
出して下さい♡♡
出して♡♡出せ♡♡
出せッ♡♡イケッ♡♡

もう出るッ…
イクッ…ッ!!!



ああ…先生の
精液で私の中
満たされてる…

幸せえ…♡♡

肉欲全開で交わり合う
快樂と幸福感…

ここには人として…女として…
私に充実をくれる空間がある…
ここが私の本当の居場所…

私は先生達のおかげで
自身を取り戻す事が出来たし
順調に貯蓄も増えていき
生活力も得られた！

そして運命の日を迎えるのだった――

それはあの男とその
息子が夜まで家を
空けた日に実行された！

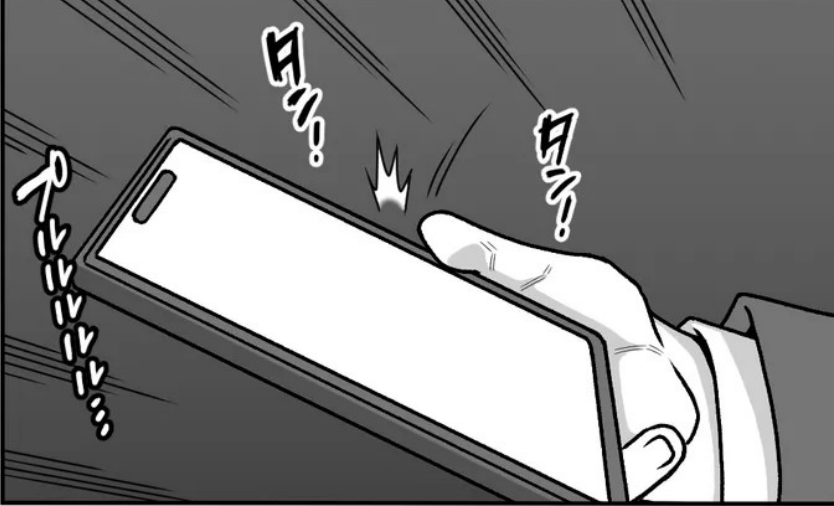
お〜い帰ったぞ！

あ〜疲れた…
俺も帰ったよ〜

おい伊純!!
いないのか!!

!?

な…何だ
これは…!?



お前の荷物だけが
無くなって…一体
これはどういう事だ!?

はいー
もしもし?

もしもしじゃない!!
何だこの部屋は!!

どうって…元々あなたが
私に要求した事じゃ
ないですか…

なっ…何!?

嫌なら出ていけって離婚届を
私に叩き付けて——

だからそれを提出して
出ていってあげただけですよ

何だとお前…
何を考えて…

あの…お前お前って無遠慮
な言い方はやめて頂けない
でしょうか…『小嵐さん』

もう私はあなたの妻でも
なければその子の母親
でも無いんですから

え…母ちゃん
何言ってる…

そういえばあなたの
お気に入りのあの娘…
あなたが私にできた事
全部話してあるから

私はこれから新しいお相手と
環境で幸せに暮らしますから

あなた達も邪魔者扱いしていた
私の事なんか忘れて楽しく
暮らして下さいね♪

ん~~~~♡♡

ん…♡♡
ん…♡♡

ま…
待ってツ…

それじゃ—
小嵐さん

さようなら♪

ツツツ
!!!

プツ…

!?

ふう…断捨離も
済ませられた
事だし…

これからは今まで以上に
心置きなくイチチャイチヤ
出来ますね♡♡

伊純の事たあ〜くさん
可愛がって下さいね♡♡
あ・な・た♡♡